

メッセ・デュッセルドルフ、アジア拠点で最初のマイルストーンに到達
アジア開催の 7 つの医療・介護分野の展示会を「MEDICARE ASIA」に統合

本年 4 月にアジアに新たな成長拠点「Messe Düsseldorf for Asia (MDfA)」を開設したメッセ・デュッセルドルフ（本社：ドイツ・デュッセルドルフ、代表取締役社長：ヴォルフラム・ディーナー）は、最初のマイルストーンに到達しました。

新たにメッセ・デュッセルドルフの専務取締役に就任したマリウス・ベルレマンは、シンガポールで開催中の MEDICAL FAIR ASIA 2024 において、アジア開催の医療介護分野 7 つの展示会を統合することを発表しました。新たな「MEDICARE ASIA」はシンガポールに本部を置きます。初の成果として、ドバイで開催される世界最大の技術・スタートアップの見本市 GITEX を主催する KAOUN との新たなパートナーシップを結び、今後は「GITEX Digi-Health 5.0 Asia」として MEDICAL FAIR ASIA、MEDICAL FAIR THAILAND、さらに将来的にはメッセ・デュッセルドルフグループがアジアで手掛ける展示会と同時開催され、新しい刺激的なコンテンツでより魅力的な展示会を提供します。

このステップには、医療・介護業界にとって有望な新市場を開拓し、アジアにさらに強力な市場を創出し、ドイツ・デュッセルドルフで毎年開催される世界有数の見本市である MEDICA、COMPAMED、REHACARE により多くのアジア企業を誘致するという MEDICARE ASIA が目指す姿が反映されています。

シンガポール 2024 年 9 月 11 日 – メッセ・デュッセルドルフは MEDICARE ASIA ブランドとして、インド、シンガポール、タイ、中国で開催される 7 つの展示会を統合するアジア全体の成長著しい医療技術・介護市場のためのプラットフォームを構築します。ベルレマン取締役は今日、東南アジア最大の医療展である MEDICAL FAIR ASIA、また同時開催の MEDICAL MANUFACTURING ASIA の合同開会式において、このメッセ・デュッセルドルフのアジア事業強化に関するマイルストーンを発表しました。

メッセ・デュッセルドルフのアジアにおける成功、またその主導的なポジションは、MEDICAL FAIR ASIA で再び証明することができました。出展者は 1,000 社を数え（91%が国外からの出展）、今年の MEDICAL FAIR ASIA は過去最大となり、MEDICARE ASIA ブランドの発表にふさわしい舞台となりました。MEDICARE ASIA ブランドには、MEDICAL FAIR ASIA（シンガポール）のほか、同時開催の MEDICAL MANUFACTURING ASIA（シンガポール）、MEDICAL FAIR THAILAND（バンコク）、MEDICAL FAIR CHINA（蘇州）、REHACARE CHINA（蘇州）、MEDICAL FAIR INDIA（ムンバイ、ニューデリー）、FAMDENT SHOW（ムンバイ、ハイデラバード）が含まれます。

注目の医療・介護分野

世界人口の約半数を占め、富裕層が増加し、医療サービスに対する需要が高まっているアジアでは、医療・介護市場は大きな可能性を秘めていると言われています。2022年から2030年の間、医療関係の支出はインドで182.3%、インドネシアで71%、中国で52.4%、日本で35%増加すると予想されています。その環境下において、「MESSE DÜSSELDORF for ASIA」は、まず医療・介護関連の展示会に重点を置きました。MEDICARE ASIAのポートフォリオディレクターであるシャーリー・リムはこのネットワークの優位性について、「ヘルスケアに対する需要はアジア全域で高まっており、同時に介護とインテグレーションというテーマが重要視されてきています。弊社はこの需要に応え、この重要な課題を前進させるために展示会というマーケットプレイスを提供します。MEDICARE ASIAはポートフォリオを戦略的に継続強化・拡大させていきます。お客様はアジアとデュッセルドルフの両拠点で、それぞれの地域のニーズに合ったサービス、一元的な窓口、そして強力なビジネス・プラットフォームというメリットを活用していただけます」と語っています。

※リリース全文（英語）は[こちら](#)をご覧ください

【本リリースに関するお問い合わせ先】

Messe Düsseldorf Group
Dr. Andrea Gränzdoerffer
Head of Corporate Communications/Press Spokesperson
Tel: +49 (0) 211/4560-555
E-mail: GraenzdoerfferA@messe-duesseldorf.de

Messe Düsseldorf for Asia
Ms. Coco Ying
Senior Corporate Marcom & Public Relations Manager
Tel: +86 (0) 21/6169 8364
E-mail: Coco.Ying@mds.cn

【メッセ・デュッセルドルフグループ (Messe Düsseldorf group) について】

メッセ・デュッセルドルフは、世界で最も成功している見本市主催会社に数えられます。61万3,000m²の展示会場では、各業界のナンバーワンメッセ20本を含む約40の専門見本市が開催されています。18のホールでは、各業界を代表するプレイヤーとバイヤーの双方の意思決定者が毎年集い、イノベーション・新製品の発表、交流やネットワーキングが行われています。メッセ・デュッセルドルフの専門領域は「機械・製造設備」(drupa、K、interpack、glasstec、wire & Tube等)、「小売・商業・サービス」(EuroShop、EuroCis、ProWein)、「健康・医療技術」(MEDICA、COMPAMED、REHACARE、A+A)、「ライフスタイル・ビューティー」(Beauty、TOP HAIR)、「レジャー」(boot、CARAVAN SALON) 、そして「モビリティ」(XPONENTIAL、Flotte!)です。これらに加え、子会社のDüsseldorf Congressにより、毎年数多くの国際会議や企業イベント・カンファレンスも開催されています。海外では、70以上のイベントを主催しており、142か国をカバーする77の在外代表部(うち7社が子会社)を有するグローバルなネットワークを構築しています。

【Messe Düsseldorf for Asia (MDfA) について】

メッセ・デュッセルドルフグループは、成長著しいアジアで卓越した地位を確立しています。4つの主要経済圏である中国、インド、日本のほかASEAN・東南アジアに展開する5つの子会社を、リージョナルハブである「Messe Düsseldorf for

Asia (MDfA)」が統合し、一元的なネットワークを構築しています。この効率的な体制により、アジアでのさらなる成長が促進され、デュッセルドルフで開催される世界的見本市へのフィードバック効果が活用されます。お客様は、アジア各地域のニーズに合わせて提供されるサービス、ひとつの連絡窓口、そしてアジアおよびデュッセルドルフにおけるより強力なビジネスプラットフォームをご利用いただけます。MDfA についての詳細は、www.md-for-asia.com をご覧ください。